

県土利用の概況

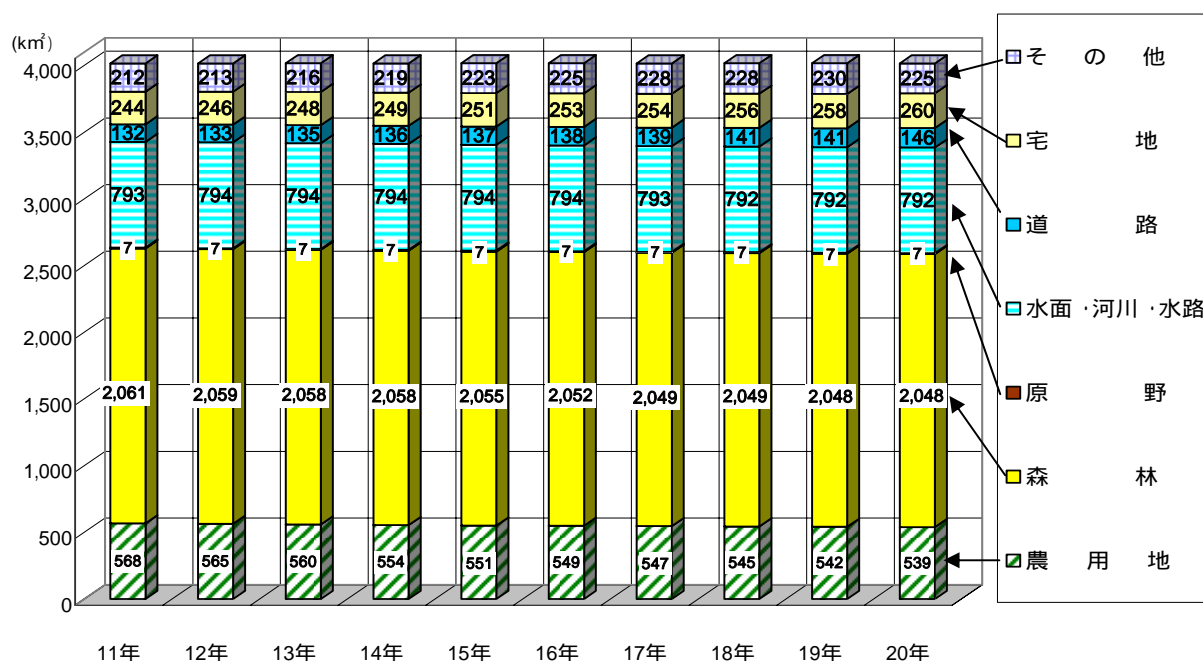
(1) 県土の利用形態別構成

県土の利用形態をみると、県土 4,017k m²のうちおよそ森林が 51%、水面・河川・水路が 20%、農用地が 13%、宅地が 6%、道路が 4%、その他が 6%を占めています。

これを国土と比較してみると、森林は全国比率よりも低いのですが、農用地、宅地はやや高くなっています。また、水面・河川・水路は琵琶湖を含んでいるため、全国比率より極端に高くなっています。

次に平成 11 年から平成 20 年の間における土地利用の推移をみると、農用地は他への転用が大きく 3k m²減少しています。一方、宅地および道路は都市化の進展に伴い、宅地が 2k m²、道路が 5k m²の増加となっています(図 1 - 2 - 1)。

図 1 - 2 - 1 県土の利用形態別推移



注：数値は、県民生活課が既存の各種統計を基に推計し直したものであり、今後市町の積み上げ等によっては若干変動することがあります。なお、端数処理のため各区分の数値の和は必ずしも合計値と一致しません。

(2) 利用形態別にみた土地利用の現況

ア 農用地

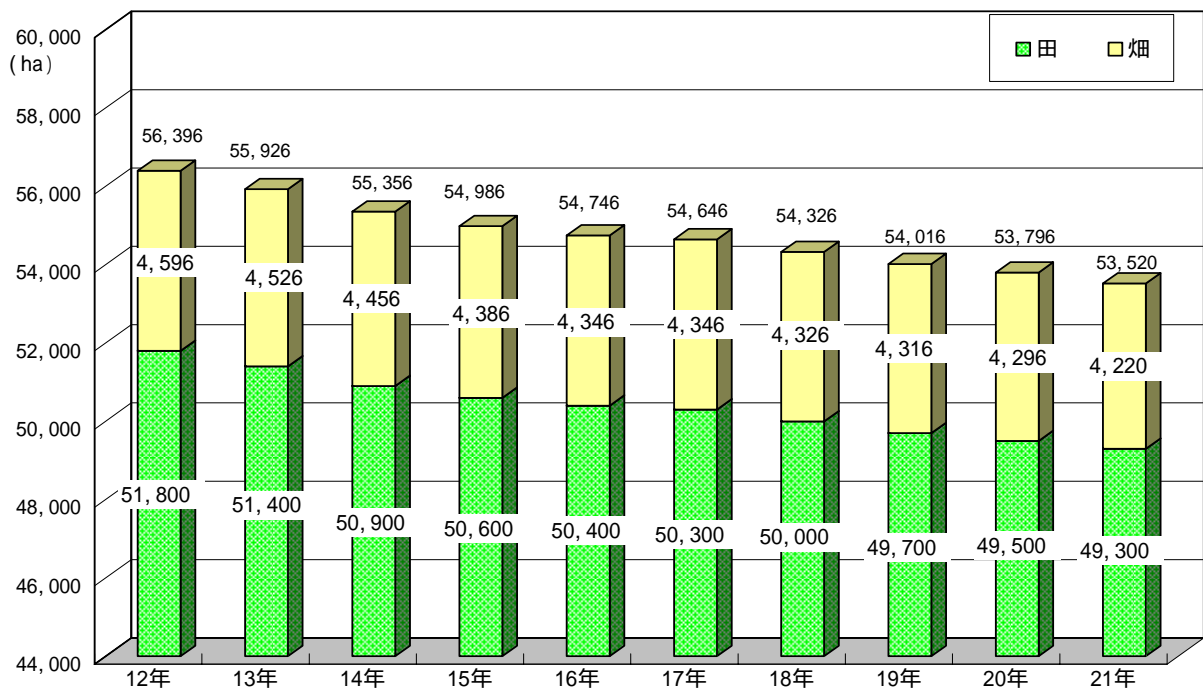
(ア) 農用地の動向

平成 21 年の耕地面積は 53,520ha で、その内訳は田 49,300ha(92.1%)、畑 4,220ha(7.9%)となっています。

耕地面積の推移をみると、平成 12 年から平成 21 年の間に 2,876ha 減少しています。特に田は平成 12 年には 51,800ha でしたが、平成 21 年には 49,300ha と 2,500ha 減少しており、耕地減少面積 2,876ha の 86.9%を占めています。

また、畑地もこの間に 376ha 減少しており、耕地は依然として、減少傾向がみられます(図 1 - 2 - 2)。

図 1 - 2 - 2 耕地面積の推移



資料：農林水産省「農林水産統計」

(イ) 農地のかい廃状況

平成 21 年の農地かい廃状況をみると、耕地面積の 0.6%程度となっています。

用途別でみると、住宅用地が最も多くを占め、平成 21 年では農地の全かい廃面積に対する割合が 71.6%となっており、住宅用地に対する需要の高さを示しています(表 1 - 2 - 1)。

表 1 - 2 - 1 農地のかい廃および開墾・干拓・埋立の推移

(単位: ha)

区 分	地目	か い 廃								拡 張			
		計	工場	道 路 ・ 鉄 道	住 宅 用 地 等	農 林 道 等	植 林	その 他	自 然 災 害	田 畑 転 換	計	開 墾 等	田 畑 転 換
12	田	389	64	49	160	29	13	66	-	8	0	0	0
	畑	69	8	7	30	2	3	19	-	-	48	40	8
	計	450	72	56	190	31	16	85	-	-	40	40	-
13	田	404	54	69	204	15	11	49	-	2	1	1	-
	畑	77	3	6	26	3	2	37	-	-	2	-	2
	計	479	57	75	230	18	13	86	-	-	1	1	-
14	田	466	83	67	219	24	10	63	0	-	0	-	-
	畑	75	3	10	26	3	0	33	-	0	0	-	0
	計	541	86	77	245	27	10	96	0	0	0	-	0
15	田	300	43	44	164	20	4	24	0	1	0	-	-
	畑	64	5	12	21	2	1	23	-	-	1	-	1
	計	363	48	56	185	22	5	47	0	-	0	-	-
16	田	158	18	9	95	8	3	23	0	2	0	-	-
	畑	34	2	1	21	0	1	9	-	-	2	-	2
	計	190	20	10	116	8	4	32	0	-	0	-	-
17	田	158	31	15	94	7	2	5	0	4	0	-	-
	畑	21	0	3	12	1	0	5	-	-	4	-	4
	計	175	31	18	106	8	2	10	0	-	0	-	-
18	田	236	25	17	127	13	4	29	-	21	0	-	-
	畑	30	2	0	13	1	1	13	-	-	21	-	21
	計	245	27	17	140	14	5	42	0	-	0	-	-
19	田	298	44	20	196	15	3	2	-	18	0	-	-
	畑	41	2	0	34	5	0	0	-	0	21	3	18
	計	321	46	20	230	20	3	2	0	-	3	3	-
20	田	218	23	7	155	6	5	3	-	19	0	-	-
	畑	37	0	0	33	3	1	0	-	-	19	-	19
	計	236	23	7	188	9	6	3	0	-	0	-	-
21	田	207	17	20	135	5	3	8	-	19	0	-	-
	畑	125	25	6	89	4	0	1	-	-	51	32	19
	計	313	42	26	224	9	3	9	-	-	32	32	-

資料：農林水産省「農林水産統計」

かい廃、拡張は、前年 7 月 15 日から当該年 7 月 14 日までの間に生じたものです。

「その他」の数値は、耕作放棄を含む値です。

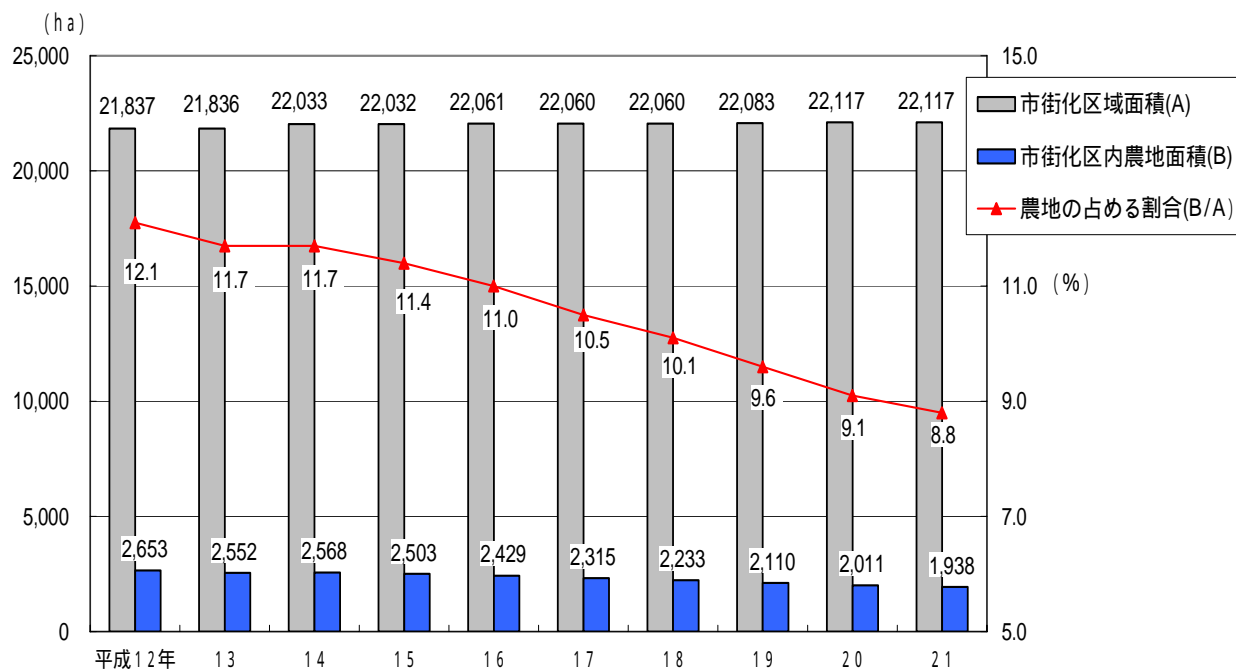
なお、「かい廃」、「拡張」の計欄の田畑の計には、田畑転換の面積を除いています。

(ウ) 市街化区域内農地面積の現況

市街化区域内農地面積は、平成 22 年 1 月 1 日現在では 1,938ha であり、市街化区域面積の 8.8%を占めています。

最近の推移を見ると、市街化区域面積が増加する中、市街化区域内農地は減少傾向にあり、その割合も低下しています(図 1 - 2 - 3)。

図 1 - 2 - 3 市街化区域内農地の推移



資料：滋賀県土木交通部都市計画課「滋賀県の都市計画」および総務省「固定資産の価格等の概要調書」

市街化区域面積は H22.3.31 現在、市街化区域内農地面積は H22.1.1 現在の値です。

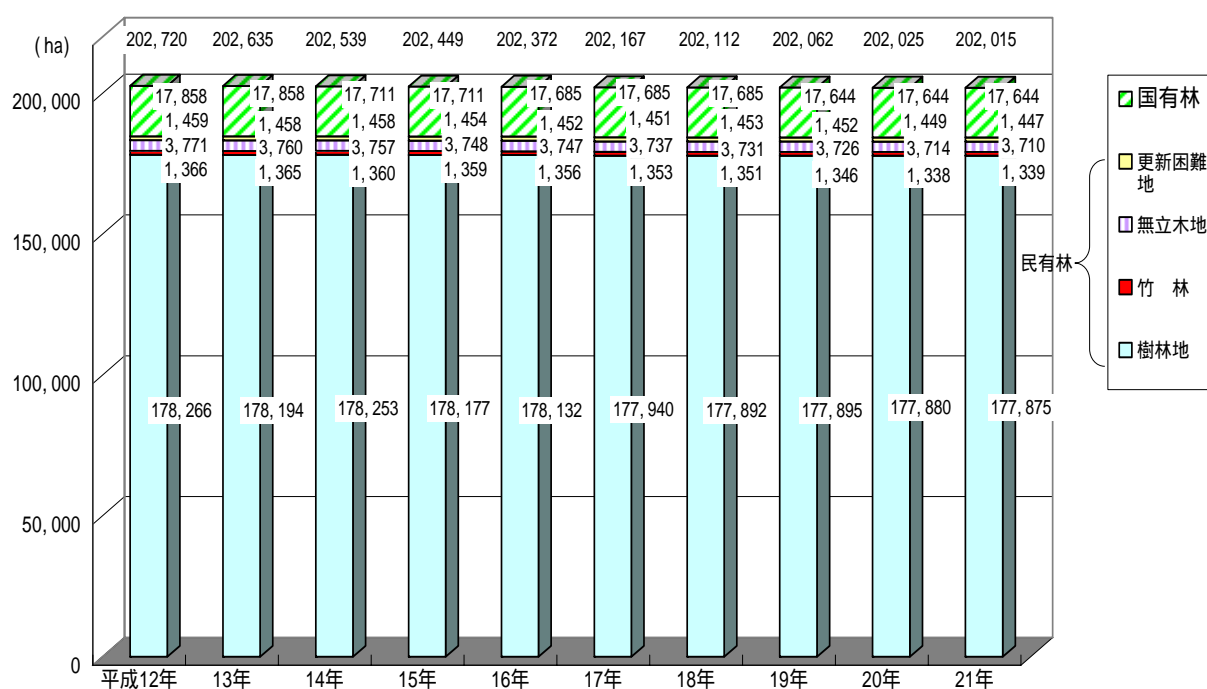
イ 森林

(ア) 森林の動向

平成 21 年度の森林面積 202,015ha のうち、民有林が 184,371ha (91.3%) と大半を占め、国有林が 17,644ha (8.7%) となっています。

森林面積の推移をみると、平成 12 年度から平成 21 年度までの間に 705ha (0.3%) 減少しています(図 1 - 2 - 4)。

図 1 - 2 - 4 森林面積の推移



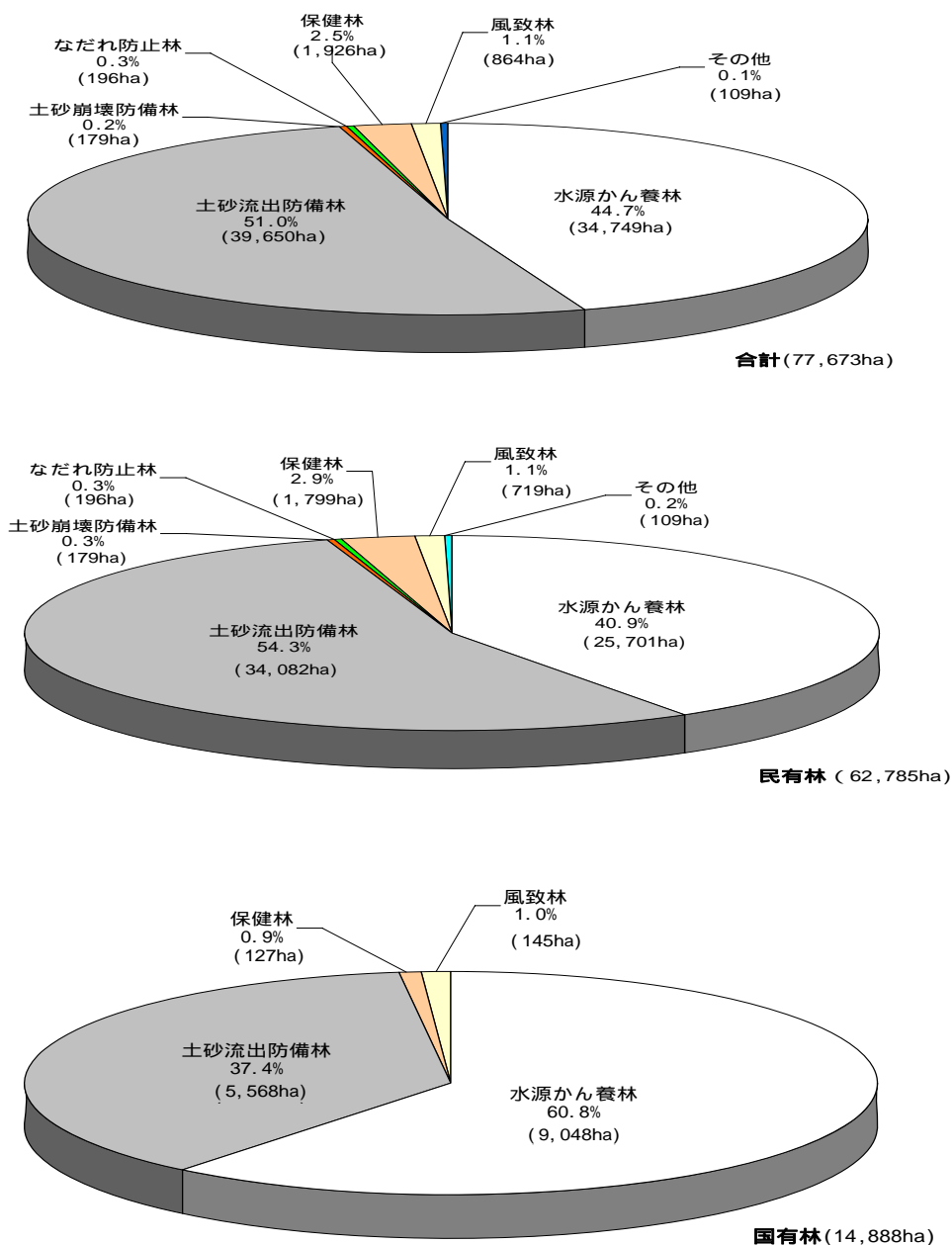
資料：滋賀県琵琶湖環境部森林政策課「滋賀県森林・林業統計要覧」

(1) 保安林の現況

森林のもつ県土保全機能、水源かん養機能、生活環境の保全、レクリエーションの場の整備等の充実強化を図るため、森林法に基づき、それぞれの目的に応じた保安林の指定をしています。

本県での保安林は森林面積の約 38%を占めています。種類別面積では、土砂流出防備保安林が最も多く、保安林面積の約 51%を占め、次いで水源かん養保安林約 45%となっています(図1-2-5)。

図1-2-5 保安林の現況(21年度)



資料：滋賀県琵琶湖環境部森林政策課「滋賀県森林・林業統計要覧」

国有林については、滋賀森林管理署調べ

(ウ) 民有林における開発行為の状況

平成 12 年度から平成 21 年度までの林地開発許可状況（伐採届出状況も含む。）を用途別面積で見ると、道路 60ha（19%）、工場事業用地 76ha（24%）、土石の採掘 43ha（13%）、住宅用地 36ha（11%）、その他 93ha（29%）となっています（表 1 - 2 - 2）。

表 1 - 2 - 2 民有林における開発行為の状況

（単位: ha）

区分	工場 事業用地		住宅用地		別荘地		ゴルフ場		レジャー 施設		農用地		土石の 採掘		道路		その他		計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
12	13	9	6	1	1	0			1	0	2	1	8	6	7	1	9	1	47	19
13	17	8	15	4	1	1	1	-3	4	2	5	2	11	6	4	1	12	5	70	26
14	18	8	16	3					3	1	6	1	8	15	6	15	20	23	77	66
15	29	9	10	5			1	3			1	0	5	3	8	6	1	0	55	26
16	18	7	12	2							3	2	2	1	13	5	22	5	70	22
17	11	22	20	9							1	0	2	2	11	13	13	30	58	76
18	24	11	9	7							1	0	4	9	13	9	28	3	79	39
19	3	2	8	2							1	0	1	1	6	3	51	18	70	26
20			9	2	1	1									16	4	22	4	48	11
21			10	1											5	3	28	4	43	8
計	133	76	115	36	3	2	2	0	8	3	20	6	41	43	89	60	206	93	617	319

資料：滋賀県琵琶湖環境部森林政策課「滋賀県森林・林業統計要覧」

伐採届出に係る開発行為も含まれます。（ただし、連絡調整によるものは除きます。）

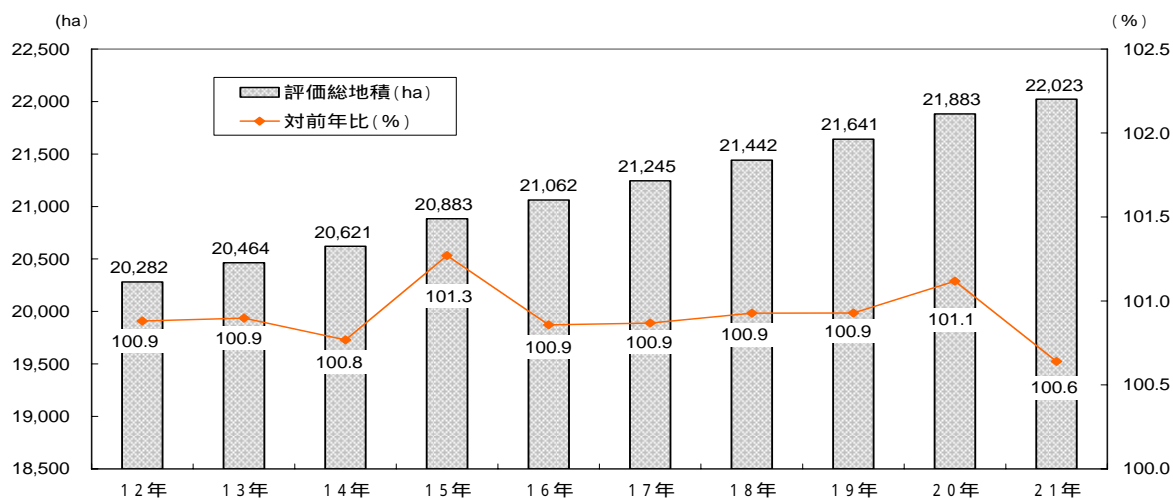
ウ 住宅地

平成 21 年の宅地面積は 22,023ha となっています。

平成 12 年から平成 21 年の宅地面積の推移についてみると、平成 12 年で 20,282ha であったのが、平成 21 年は 22,023ha で、1,741ha (8.6%) 増となっています (図 1 - 2 - 6)。

また、農地から住宅用地への転用状況を見ると、ここ 10 年はおおむね 70ha 前後で、平成 21 年では 64.2ha となっています。また各年の住宅用地への転換が農地転用に占める比率は、平均で約 31% となっています (図 1 - 2 - 7)。

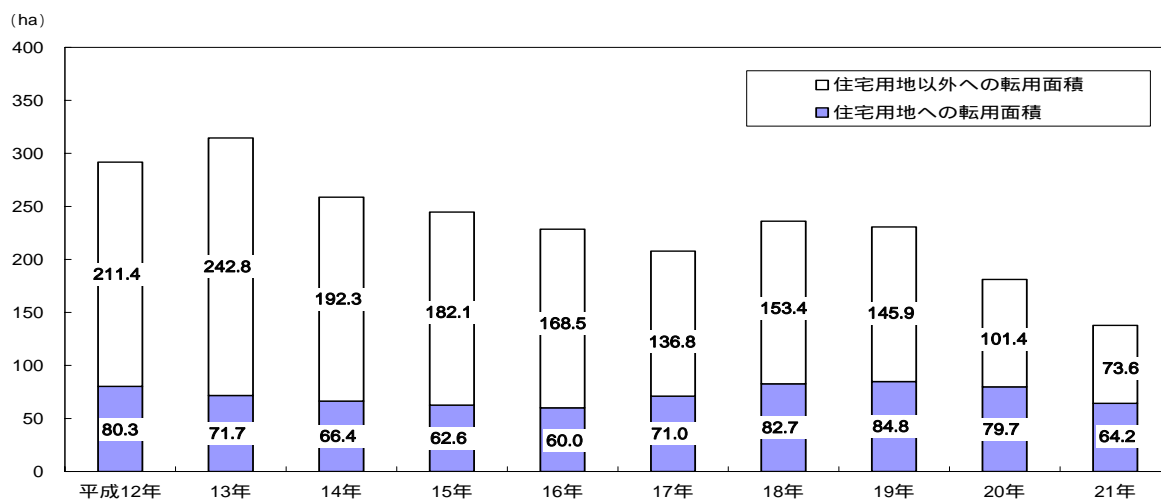
図 1 - 2 - 6 宅地面積 (評価総地積) の推移



資料：滋賀県総務部税政課「固定資産の価格等の概要調書」(非課税地を除く。)

平成 11 年は平成 12 年 1 月 1 日現在の数値 (以降の年も同じ)

図 1 - 2 - 7 農地から住宅用地への転用状況



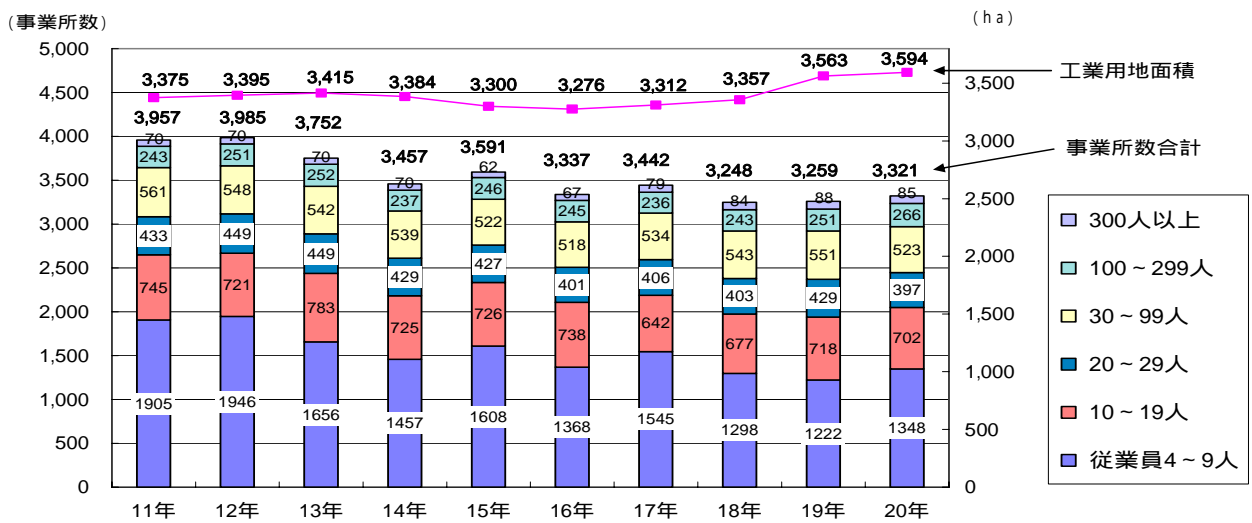
資料：滋賀県農政水産部農政課「土地管理情報収集分析調査」

エ 工業用地

平成 20 年の工業用地（従業者 30 名以上）は 3,594ha と、前年と比較して 31ha 増加（0.9% 増）しました。この 10 年間は、前半は緩やかな減少傾向にありましたが、ここ 4 年は増加の傾向が見られます。事業所数（従業者 4 名以上）は 3,321 と、前年と比較して 62 増加（1.9% 増）しました（図 1 - 2 - 8）。

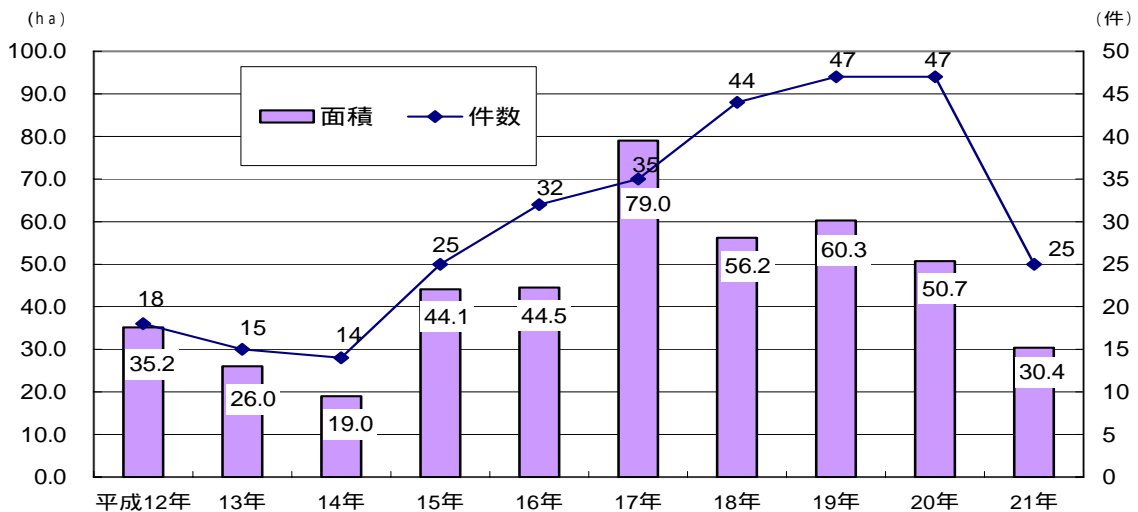
また、工場立地（1,000 m²以上の新設・増設）は、6 年間立地件数が増加していたものが、平成 21 年は 25 件と大幅に減少しました。面積についても 30.4ha の増加にとどまっています（図 1 - 2 - 9）。

図 1 - 2 - 8 工場用地・事業所数の推移



資料：滋賀県総務部統計課「工業統計調査結果報告書」

図 1 - 2 - 9 工場立地面積・件数の推移



資料：滋賀県商工観光労働部新産業振興課調べ